

委員長 堀田あけみ氏

1964 年生まれ。海部郡七宝町（現あま市）出身の作家。1981 年、高校在学中に『1980 アイコ十六歳』が文藝賞を受賞、最年少受賞（当時）が話題となる。作品は映画化、コミック化された。名古屋大学大学院教育学研究科（後期課程）単位取得後退学。教育学修士。専門は発達心理学。現在、椙山女学園大学国際コミュニケーション学部表現文化学科教授。主な著書に『1980 アイコ十六歳』、『イノセント・ガール』、『唇の、することは』がある。

委員 清水義範氏

1947 年、愛知県愛知郡天白村（現名古屋市天白区）生まれの作家。愛知教育大学教育学部国語学科卒業。1988 年に『国語入試問題必勝法』により第 9 回吉川栄治文学新人賞を受賞。SF、パスティーシュ、推理小説のシリーズ、名古屋をモチーフにした作品など幅広い作品を著す。2009 年名古屋文化の神髓紹介とユーモアあふれる作風が認められ、中日文化賞を受賞。主な著書に『蕎麦ときしめん』、『金鯪の夢』、『虚構市立不条理中学校』、『柏木誠治の生活』がある。

委員 清水良典氏

1954 年生まれ。奈良県出身の文芸評論家。立命館大学文学部日本文学科卒業。1986 年群像新人文学賞評論部門を受賞したことにより文芸評論家として執筆活動に入る。共同通信で文芸時評を担当、朝日新聞、信濃毎日新聞で書評委員を務めた。また、現在は愛知淑徳大学創造表現学部教授として、各出版社の新人文学賞を目指せるレベルの作品創作を指導している。主な著書に『最後の文芸時評』、『高校生のための文章読本』以下高たためシリーズがある。

委員 熊沢尚人氏

1967 年生まれ。名古屋市出身の映画監督、脚本家。成城大学在学中に監督した自主映画『VIDE 男』が集英社 BJ 映像大賞に入選、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭オフィシアター部門に出品。2004 年短編オムニバス映画『TOKYO NOIR トウキョーノワール～Birthday～』（オリジナル脚本）でポルト国際映画祭最優秀監督賞を受賞。2005 年『ニライカナイからの手紙』で劇場長編映画の初監督を務めた。代表作は『おと・な・り』、『君に届け』。

委員 木全純治氏

シネマスコーレ（愛知県名古屋市中村区にあるミニシアター）代表取締役、支配人。大学卒業後、東京の文芸座に勤務。その後名古屋に戻り、ビデオ販売業に従事。故若松孝二監督が社長を務めるシネマスコーレの立上げに関わり、請われて支配人となる。メジャーな映画館では上映されない良質な映画を上映したいとの思いから、アジア映画の上映活動を続けている。「みんなで映画を作ろう」では講師として活躍中。